

科目名 (科目番号)	公衆栄養学Ⅱ (時間割参照)	教員名 増野 弥生	学科等	保健栄養	必修	履修年次	3
	曜日・時限等		時間割表参照	単位数	2		
	授業形態		講義	オフィスアワー	授業前後		
授業概要	栄養・健康問題とそれらに関連する諸要因を解析するための栄養疫学の概念や、保健・医療・福祉・介護システムの中で人々に適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの計画・実施・評価に必要な理論と方法を修得する。さらに、各種サービスやプログラムの調整、人的・物的資源の活用、栄養情報やコミュニケーション管理などの仕組みについて理解する。						
目的・目標	目的:公衆栄養学Ⅰで学んだ知識を基に、栄養疫学、公衆栄養プログラムの計画作成・実施・評価のマネジメントに必要な理論や方法を習得することができる。保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養上のハイリスク集団の特定とともにあらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。 目標:各種サービスやプログラムの調整、人的資源など社会的資源の活用、栄養情報の管理、コミュニケーションの管理などの仕組みについて理解する。地域の健康・栄養活動における栄養疫学の必要性と意義を理解し、健康・栄養施策の立案および公衆栄養プログラムについて学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	栄養疫学1	到達目標:栄養疫学の概要について理解する。 学習内容:栄養疫学の役割、公衆栄養活動への応用について学習する。				
	2	栄養疫学2	到達目標:栄養疫学の方法・指標について理解する。 学習内容:栄養疫学の疾病頻度、曝露効果、方法について学習する。				
	3	食事調査法	到達目標:食事調査法について理解する。 学習内容:食品と栄養素、個人内変動と個人間変動について学習する。				
	4	食事摂取量の測定方法	到達目標:食事摂取量の測定方法について理解する。 学習内容:24時間食事思い出し法と食事記録法、食物摂取頻度調査法とその妥当性・再現性、食事摂取量を反映する身体計測値・生化学的指標について学習する。				
	5	食事摂取量の評価方法	到達目標:食事摂取量の評価方法について理解する。 学習内容:総エネルギー調整栄養素摂取量、データの処理と解析について学習する。				
	6	公衆栄養マネジメント	到達目標:公衆栄養マネジメントについて理解する。 学習内容:地域診断意義と目的、公衆栄養マネジメントの考え方・重要性、公衆栄養マネジメントの過程について学習する。				
	7	公衆栄養アセスメント1	到達目標:公衆マネジメント・公衆栄養アセスメントについて理解する。 学習内容:公衆マネジメントのためのモデル(プリシード・プロシードモデル)公衆栄養アセスメントの目的と方法について学習する。				
	8	公衆栄養アセスメント2	到達目標:公衆栄養アセスメントについて理解する。 学習内容:地域診断の方法、食事摂取基準の地域集団への活用、量的調査と質的調査の意義、観察法と活用、質問調査の方法と活用、既存資料の活用の方法と留意点について学習する。				
	9	公衆栄養プログラムの目標設定	到達目標:公衆栄養プログラムの目標設定について理解する。 学習内容:公衆栄養アセスメント結果からの状況把握、改善課題の抽出、課題設定の目的と相互の関連、改善課題に基づく改善目標の設定、目標設定の優先順位について学習する。				
	10	公衆栄養プログラムの計画	到達目標:公衆栄養プログラムの計画について理解する。 学習内容:地域社会資源の把握と管理、運営面・政策面のアセスメント、計画策定、住民参加の方法について学習する。				
	11	公衆栄養プログラムの実施	到達目標:公衆栄養プログラムの実施について理解する。 学習内容:プログラムに関連する関係者・機関の役割、評価の意義と方法、評価の実際について学習する。				
	12	公衆栄養プログラムの評価	到達目標:公衆栄養プログラムの評価について理解する。 学習内容:評価の意義と方法、評価の実際について学習する。				
	13	公衆栄養プログラムの展開1	到達目標:地域特性に対応したプログラムの展開について理解する。 学習内容:健康づくり、食育、介護予防・在宅療養・介護支援、地域包括ケアシステムの構築について学習する。				
	14	公衆栄養プログラムの展開2	到達目標:食環境整備のためのプログラム展開について理解する。 学習内容:食物・食情報へのアクセスと食環境整備、特別用途食品等の活用、栄養成分表示の活用、「健康な食事」の普及啓発について学習する。				
15	地域集団の特性別プログラムの展開	到達目標:地域集団の特性別プログラムの展開について理解する。 学習内容:ライフステージ別:妊娠期・授乳期、新生児期・乳児期、成長期、成人期、高齢期、及び生活習慣病ハイリスク集団について学習する。					
成績評価の方法・基準	期末試験(80%)、小テスト(20%)						
教科書	ウエルネス公衆栄養学 2025年版		加島浩子・森脇弘子・寄谷博子 編集		医歯薬出版		
参考図書	適宜紹介します						
教員からのメッセージ	単元ごとに小テストを行います。小テストは次回授業内で解説します。授業は進行状況により内容を変更することがあります。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						